

工事説明書 壁掛け熱交換気扇 (1パイプ)

用途	居室用	高所取付用	常時換気タイプ
品番	FY-20KW FY-30KW	※FY-20KWとFY-30KWは、風量などの特性が異なります。据え付けの前に品番をご確認ください。	

工事説明書をよくお読みの上、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
 工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負いません。
 また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
 ■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

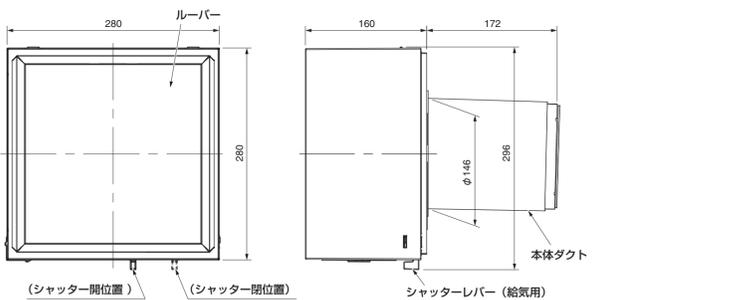
警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)
		○ してはいいない内容です。
		● 実行しなければならない内容です。

警告		注意	
	仕様変更・改造は絶対にしない 火災・感電・けがの原因になります。		浴室など、湿気の多いところに取付けない 感電や故障の原因になります。
	壁掛け熱交換気扇は高温や高湿度空気を吸い込む位置には取付けない 機器内部に影響を与え、感電・火災の原因になることがあります。		天井には取付けない 落下により、けがをするおそれがあります。
	交流100ボルトで使用する 火災・感電の原因になります。		本体は、十分強度のあるところにしっかりと取り付け、強度不足の場合には補強する 落下により、けがをするおそれがあります。
	メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造建築物に金属製排気ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける 漏電した場合、火災の原因になります。		部品は確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。
	パイプフードは、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設置する 室内が酸欠の原因になることがあります。		

お願い

- 高温 (40℃以上) になる場所には取付けないでください。
製品の变形やモーターの寿命を縮める原因になります。
 - 台所など油煙の発生する場所や有機溶剤のかかる場所には取付けないでください。
ルーバーなどの破損の原因になります。
 - パイプフードと壁とのすき間がないようにコーキングしてください。
雨水浸入の原因になります。
- 図のような取付場所を確保してください。
お手入れや点検ができません。
- 先行パイプを必ず取り付けてください。
■吸込フィルターを取り付ける場合は表裏に注意してください。
- 電気・電子機器や濡れて困るものの上に本体を設置しないでください。
霧などの高湿度空気を吸い込むと、本体から結露水が滴下して、破損につながる場合があります。
- 火災警報器の近くに本体を設置しないでください。
本体と火災警報器の距離は1.5 m以上離してください。設置が困難な場合は、所轄消防署にご相談ください。
- 石こうボードに取り付ける場合
■ねじが壁下材にかかると取り付けてください。
または市販の石こうボード用アンカーを必ず使用してください。
ねじで壁内の配線を傷つけないようにしてください。
雨水浸入の原因になります。

各部の名前と寸法



■付属品

延長ダクト (φ144×160 L)	1本	バックンA (厚さ: 4 mm)	1枚
ねじ (本体・本体ダクト固定用)	6個	バックンB (厚さ: 8 mm)	1枚
		バックンC	1枚

■別売品

品番など詳細についてはカタログを参照してください。

パイプフード

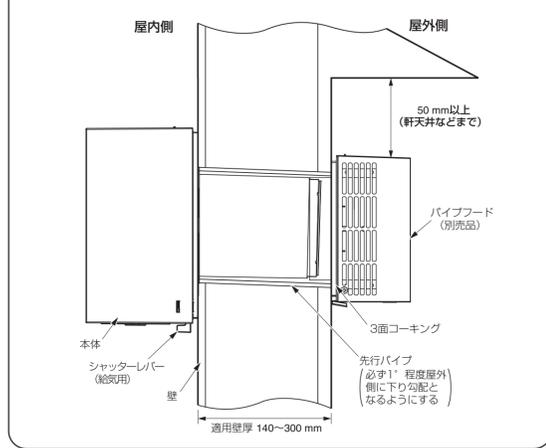
適用パイプ	外径	内径
VU φ150	φ165	φ154
FY-KP06	φ153	φ150

●内径の小さいパイプに本体を取り付けたあと、内径の大きいパイプには取り付けないでください。(漏れ防止のため)
 ●VP φ150は使用しないでください。
 ●VP φ150には製品を取り付けることができません。

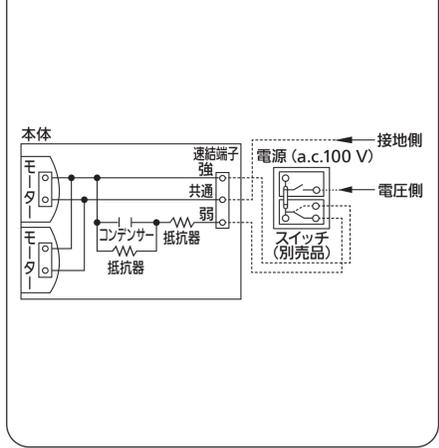
スイッチ
 本体1台にスイッチが1個必要です。(スイッチ1個で本体の電数台運転)はできません

お願い
 この製品専用の付属品あるいは指定のもの (別売品) 以外は使用しないでください。

取り付け参考図



結線図



施工方法 以下の手順に従って施工してください。

1 先行パイプの取り付け

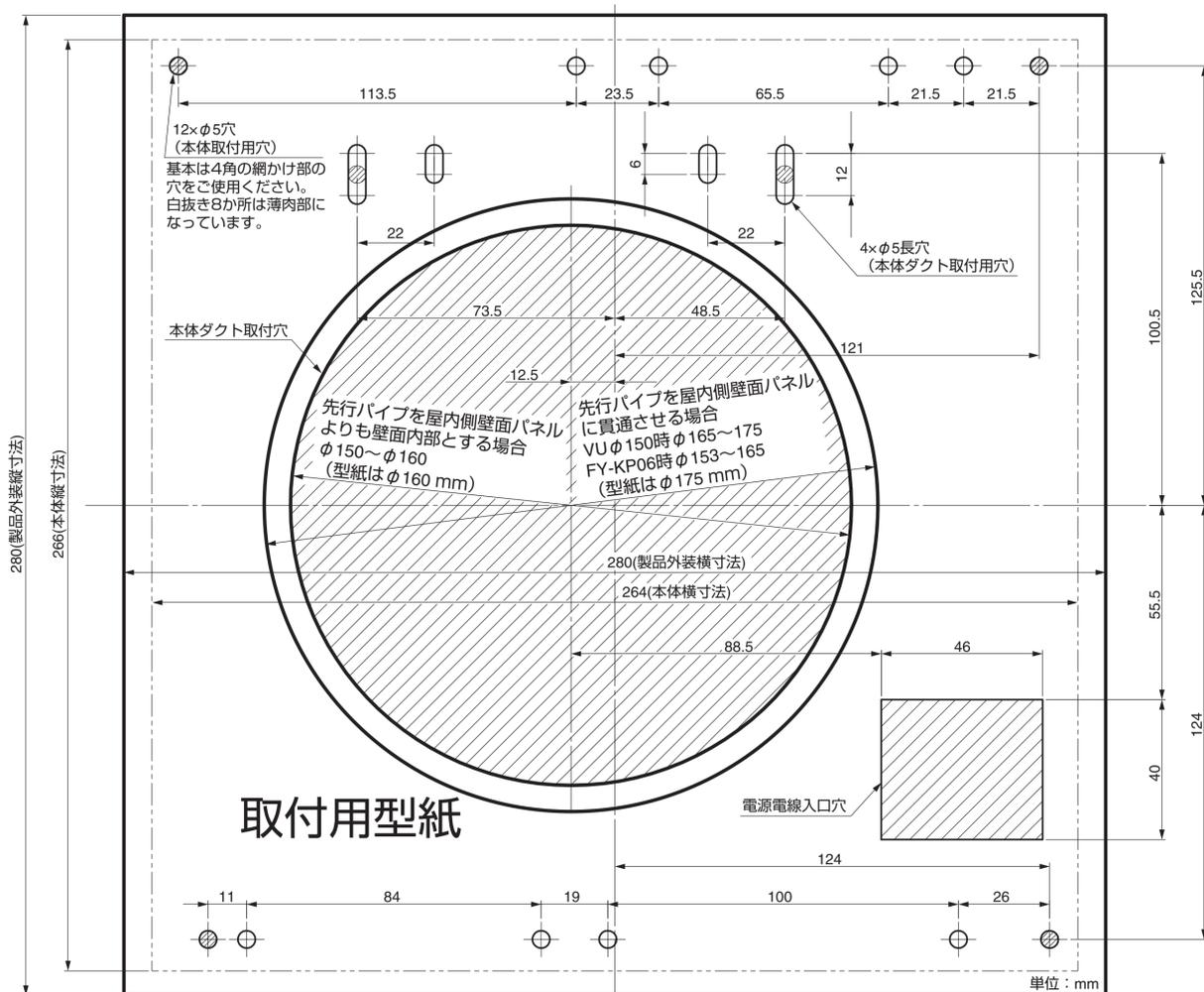
- 下記を確認し、先行パイプを取り付ける。
- 本製品設置には、先行パイプ設置が必要で。
 - 屋外側に下り勾配を1°±1°程度設けてください。(勾配をとらないと、雨水が屋内側に流れるおそれがあります)
 - 先行パイプの穴が、すじかい、屋内配線、電話ケーブルなどにかからないように注意してください。
 - 先行パイプ外周部には、適切な気密処理を施してください。(気密漏れによる結露が発生するおそれがあります)

屋外側施工	屋内側施工							
<p>■先行パイプは外壁面から屋外側に0~5 mm飛び出す長さにしてください。</p> <p>■壁内部に雨水が入らないように、防水用コーキング剤を確実に施してください。 (先行パイプは、指定以上の長さで配管されますと、パイプフードが壁面より浮くおそれがあります)</p>	<p>先行パイプを屋内側壁面パネルよりも壁面内部とする場合</p> <p>■気密性確保のため、先行パイプは内壁面から18 mm以内にしてください。</p> <p>■屋内側壁面パネルの本体ダクト取付穴はφ150~160 mmにしてください。 (指定の寸法範囲外ですと、正しく製品が取り付けられないおそれがあります)</p>	<p>先行パイプを屋内側壁面パネルに貫通させる場合</p> <p>■先行パイプは内壁面から0~5 mm壁面内に入り込むようにしてください。 (先行パイプは、内壁面から屋内側に飛び出さないようにしてください。製品本体が壁面より浮くおそれがあります)</p> <p>■屋内側壁面パネルの本体ダクト取付穴</p> <table border="1"> <tr> <td>先行パイプ</td> <td>本体ダクト取付穴</td> </tr> <tr> <td>VU φ150</td> <td>φ165~175 mm</td> </tr> <tr> <td>FY-KP06</td> <td>φ153~165 mm</td> </tr> </table>	先行パイプ	本体ダクト取付穴	VU φ150	φ165~175 mm	FY-KP06	φ153~165 mm
先行パイプ	本体ダクト取付穴							
VU φ150	φ165~175 mm							
FY-KP06	φ153~165 mm							

2 本体取り付け前の準備

- ①排気用シャッターのテープをはがす。
 - ②引っ掛け部を外に開きながらルーバーを取りはずす。
 - ③熱交換素子の取っ手を引き、本体から取りはずす。
 - ④コネクターケーブルを固定しているテープをはがす。
-
- お願い
 熱交換素子は取りはずした状態で長時間放置しないでください。

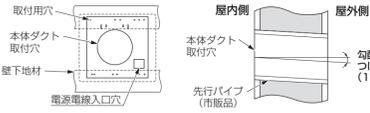
取付用型紙



3 本体の取り付け

単位: mm

①型紙を利用して本体ダクト取付穴を確認し、電源電線入口穴(46×40角穴)をあける。



お願い

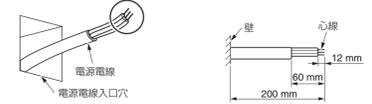
※取付穴が壁下地材にかかると取り付けてください。
※穴が、すじかい、屋内配線、電話ケーブルなどにかからないように注意してください。
※先行パイプ内側面にねじなどがある場合は、ねじを取りはずし、穴を市販のアルミテープなどでふさいでください。

②型紙で本体取付穴、本体ダクト取付穴の位置を確認し、必要に応じて石膏ボード用アンカーを取り付ける。

お願い

※石膏ボードに取り付ける場合、本体および本体ダクト固定用ねじが壁下地材にかからないときは、石膏ボード用アンカーを必ず取り付けてください。

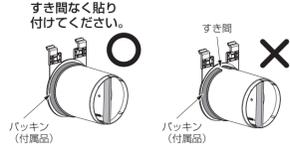
③電源電線(φ1.6またはφ2.0)を電源電線入口穴から引き出し、先端を加工する。



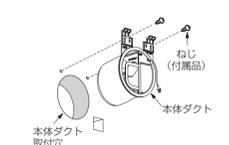
④本体ダクトに延長ダクトを接続し、パッキンCを貼り付ける。

壁厚が140 mm以上150 mm未満 (延長ダクト不要)	壁厚が150 mm以上289 mm未満 (延長ダクト切断必要)	壁厚が289 mm以上300 mm以下 (延長ダクト切断不要)
<p>本体ダクトの仕切りを挟み込むようにパッキンCを貼り付ける。パッキンは重ね貼りになります。</p>	<p>(1) 壁厚に合わせて付属の延長ダクトを切断用ノコギリを使用して切断する。 延長ダクト長さ=壁厚-135 mm</p> <p>(2) 本体ダクトに延長ダクトを接続し、アルミテープで固定する。 延長ダクト(付属品) アルミテープ(市販品)</p> <p>(3) 延長ダクトの仕切りを挟み込むようにパッキンCを貼り付ける。 パッキンC(付属品)</p> <p>お願い ※バUがでた場合は取り除いてください。 ※はまらない場合は180度回転させてください。</p>	<p>(1) 本体ダクトに延長ダクトを接続し、アルミテープで固定する。 延長ダクト(付属品) アルミテープ(市販品) 延長ダクト(付属品)</p> <p>(2) 延長ダクトの仕切りを挟み込むようにパッキンCを貼り付ける。 本体ダクト 延長ダクト(付属品) 仕切り パッキンC(付属品)</p> <p>お願い ※はまらない場合は180度回転させてください。</p>

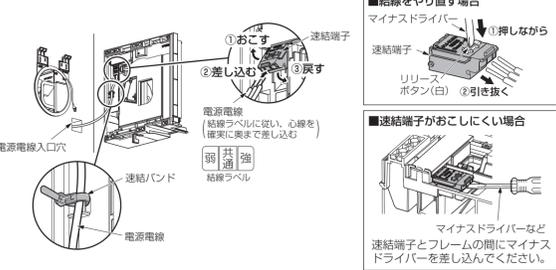
⑤先行パイプに合わせ、本体ダクトに付属のパッキンAまたはBを貼り付ける。
(FY-KP06 (内径φ150):パッキンA 厚さ4 mm)
(VUφ150 (内径φ154):パッキンB 厚さ8 mm)



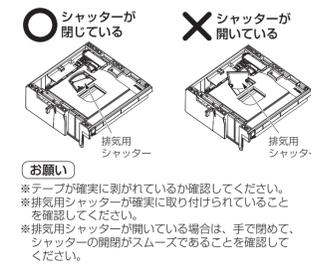
⑥本体ダクトを本体ダクト取付穴に挿入し、付属のねじ(2個)で固定する。
付属のねじの長さが不足する場合(壁下地材まで届かないなど)は、市販のタッピンねじ(φ4 1種)をご使用いただけます。



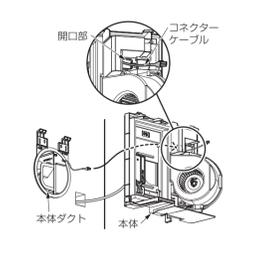
⑦電源電線を電源電線入口穴から引き出し、本体裏面の連結端子に接続したあと結束バンドで電源電線を固定する。



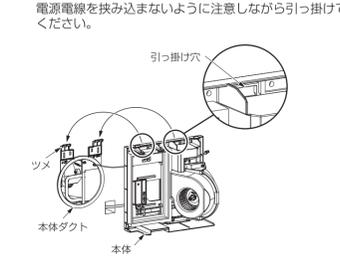
⑧排気用シャッターが正しく取り付けられているか確認する。



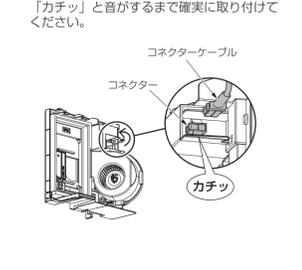
⑨本体ダクトのコネクターケーブルを本体の開口部から引き出す。



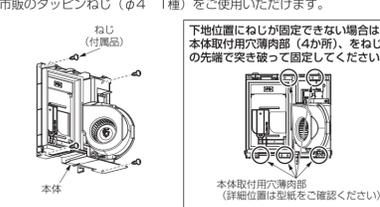
⑩本体の引っ掛け穴(2か所)を本体ダクトのツメ(2か所)に引っ掛ける。
電源電線を挟み込まないように注意しながら引っ掛けてください。



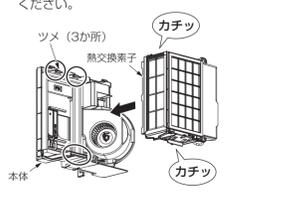
⑪コネクターケーブルをコネクターに接続する。
「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。



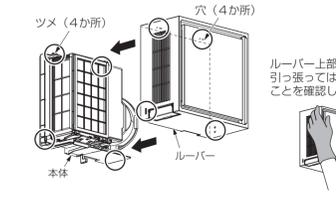
⑫本体を付属のねじ(4個)で固定する。
付属のねじの長さが不足する場合(壁下地材まで届かないなど)は、市販のタッピンねじ(φ4 1種)をご使用いただけます。



⑬熱交換素子を本体正面から取り付ける。
「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。

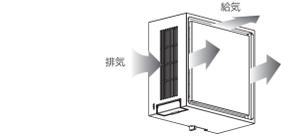


⑭ルーバーを本体正面から取り付ける。
穴にツメが確実に固定されたことを確認してください。



4 試運転

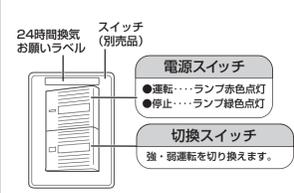
- ・シャッターレバー(給気用)を開の位置まで開いてください。
- ・電源スイッチ(別売品)を「入」にして運転し、異常がないか確かめてください。
- 給気確認位置から風が出ていますか?
- 排気確認位置から風が吸い込まれていますか?



・切換スイッチで「強」「弱」を切り換え、風量が変化することを確認してください。

- 異常な振動・騒音がありませんか?
- 壁と本体にすき間がありませんか?
- 本体の傾きはありますか?
- パッキンの貼り忘れはありませんか?
- 先行パイプがVUφ150の場合は、パッキンA(厚さ4mm)、先行パイプがFY-KP06の場合は、パッキンB(厚さ8mm)が残ります。→上記以外のパッキンとパッキンCが残っている場合はパッキンの貼り忘れがあります。「3.本体の取り付け」を確認し、確実にパッキンを貼り付けてください。

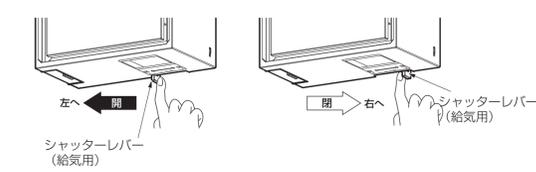
■スイッチ(別売品)の操作



※スイッチ(別売品)に付属の24時間換気お願いラベルをスイッチまたはスイッチの近くに貼ってください。

■シャッターレバー(給気用)の操作

シャッターレバーで製品の運転/停止はできません。



お願い

・製品を運転するときはシャッターレバー(給気用)を開の位置まで完全に開いてください。